

平成 30 年 3 月 31 日

平成 29 年度静岡市協働パイロット事業
「定時制高校生のための生き抜く力を育む事業」実施報告書

報告者：特定非営利活動法人しずおか共育ネット
代表理事 井上 美千子

今年度、静岡市協働パイロット事業にて実施した「定時制高校生のための生き抜く力を育む事業」の全業務が終了しましたので、下記のとおり報告致します。

本事業は、静岡市子ども未来局青少年育成課及び静岡県立静岡中央高等学校と特定非営利活動法人しずおか共育ネットの三者協働事業として実施しました。以下に詳細の報告をまとめました。

記

1 委託業務の名称

平成 29 年度市自委第 9 号協働パイロット事業「定時制高校生のための生き抜く力を育む事業」業務

2 委託業務の目的

定時制高校生に対し、多様な「人とのつながりの場」と「社会的経験の機会」を提供する事業を実施することで、対人関係の構築支援及び就業支援を図り、自立して生きていくことができる生徒の育成に寄与する。

3 事業期間 平成 29 年 6 月 30 日～平成 30 年 3 月 31 日

4 事業実施内容の報告

(1) 定時制高校内居場所事業

①事前オリエンテーションの実施

実施日時：9月6日（水）13：10～10分程度

場所：静岡中央高等学校校庭

補足：単位制の定時制高校のため、全校生が一同に集まる機会が限られているため、防災訓練後の時間を頂き、きやりこみゆカフェの PR 及びルール説明を実施。

また、各ゼミにてきやりこみゆカフェのチラシを配布した。

②きやりこみゆカフェ実施日時及び参加人数

回	実施日	時間	生徒参加数	スタッフ数
第 1 回	9 月 13 日（水）	13:30～16：00	121 人	7 人
第 2 回	9 月 20 日（水）	13:30～16：00	133 人	7 人
第 3 回	10 月 11 日（水）	13:30～16：00	133 人	7 人

第4回	10月25日(水)	13:30~16:00	75人	9人
第5回	11月8日(水)	13:30~16:00	79人	8人
第6回	11月22日(水)	14:00~16:00	102人	9人
第7回	12月6日(水)	14:00~16:00	72人	6人
第8回	12月20日(水)	14:00~16:00	151人	15人
第9回	1月10日(水)	14:00~16:00	63人	10人
第10回	1月24日(水)	14:00~16:00	71人	7人
第11回	2月8日(木)	14:00~16:00	81人	9人
第12回	2月21日(水)	14:00~16:00	89人	8人
合計			1170人	102人

③各回の報告

毎回実施報告書を作成し、特定非営利活動法人しずおか共育ネットのブログ及びFacebookページにて報告を実施した。

④カフェ運営の工夫

カフェ終了後、毎回実施している振り返り会で出た意見を元に、カフェがより一層寛げる場所となるような試みを下記のとおり実施した。

内容	写真	補足
ハンドマッサージコーナーのオープン		静岡中央高校で実施している生涯学習講座を受講している履修生から、静岡新聞を見て自分たちもできることをお手伝いしたいと申し出がありスタートした。
クリスマスパーティーの実施		生徒全員に招待状を配布。先着200人にお菓子の詰め合わせを用意。また、先生方・スタッフ・地域の皆さまからビンゴの景品を寄付頂き、ビンゴ大会を実施。

<p>ギター講習の実施</p>		<p>12/26（火）に実施した中間振り返り会の意見を踏まえ実施。音楽を通じた高校生との交流を実施。新たな層の来客に繋がる。</p>
<p>秘密基地スペース設置</p>		<p>12/26（火）に実施した中間振り返り会の意見を踏まえ実施。カフェに入れない生徒の心理的ハードルを下げるため衝立で遮られたスペースを設置。</p>
<p>おでんカフェの実施</p>		<p>地域の居場所として親しまれてきた静岡おでんのおがわさんに協力頂き、校内におでんカフェをオープン。200本のおでんを用意。</p>

⑤運営メンバー

カフェには特定非営利活動法人しずおか共育ネットのメンバーをはじめ、学生サークルきやりこみゆ・地域の大人など多様なスタッフが参加した。

参加者には「きやりこみゆカフェ運営マニュアル」

高校生には主な参加者のプロフィールがわかるように添付のような自己紹介書を作成し、カフェの入口に添付した。

参加者名	所属等	備考
近藤武さん	特定非営利活動法人丸子まちづくり協議会 理事長	
福貴稔さん	社会福祉法人天心会 社会貢献担当	
増田大也さん	ホテルセンチュリー勤務	静岡中央高校出身

山本さやかさん	個人事業主	
山田瑞己さん	静岡県立大学食品栄養科学部4年 Wine Café Route52 オーナー	
澤田祐希	静岡県立大学経営情報学部3年 きやりこみゆ共同代表	
八木優歩	静岡県立大学経営情報学部3年 きやりこみゆ共同代表	
斎藤なるみ	常葉大学法学部4年	
矢野陽士	常葉大学教育学部3年	福岡県内の定時制高校卒業
工藤裕芽	常葉大学教育学部3年	
相見佳輝	常葉大学教育学部3年	
袴田和広	常葉大学教育学部院2年	
天野浩史	特定非営利活動法人しずおか共育ネット 副代表理事	
太田大介	特定非営利活動法人しずおか共育ネット 理事	静岡中央高校卒業
井上美千子	特定非営利活動法人しずおか共育ネット 代表理事	

⑥視察実績

視察訪問者には、エプロンを着用し高校生との会話を楽しんで頂くよう依頼した。

回	視察日	人数	視察訪問者
第1回	9月13日(水)	2人	静岡県教育委員会高校教育課杉山忍様・鈴木様
第8回	12月20日(水)	4人	静岡県立新居高等学校定時制中村様 地域若者サポートステーション渡邊秀和様他2人
第10回	1月24日(水)	2人	静岡県教育委員会社会教育課佐藤敦様・金原辰夫様
第11回	2月8日(水)	1人	兵庫県立姫路北高等学校 主幹教諭 多田正司様
第12回	2月21日(水)	2人	ふじのくにNPO活動センターセンター長溝口和寿様 静岡市市民自治推進課横田幸也様
合計		11人	

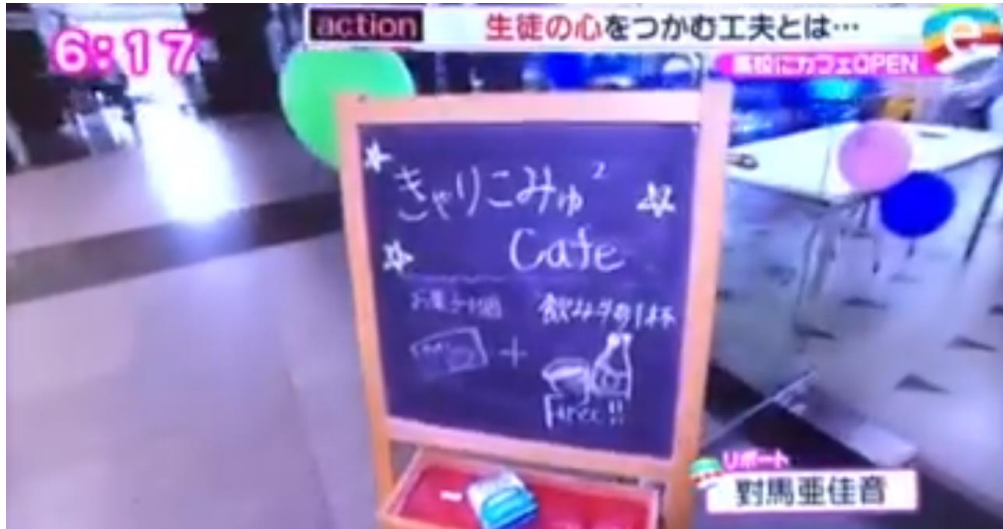
⑦取材及びメディア掲載実績

取材に訪れて頂いたマスコミの皆さんには、高校生の声を可能な限り聞いて頂くよう依頼した。

回数	取材日	取材
第1回	9月13日(水)	静岡第一テレビ・静岡新聞・朝日新聞
第6回	11月22日(水)	朝日新聞
第8回	12月20日(水)	静岡新聞
第11回	2月8日(水)	テレビ静岡・静岡新聞・朝日新聞

【メディア掲載実績】

9月13日（水）静岡第一テレビ ニュース every.



9月14日（木）静岡新聞朝刊

平成29年(2017年)9月14日(木曜日) 地域中

気軽に交流、弾む会話 静岡中央高にカフェ

静岡市と県立静岡中 美千代代表 は13日、中央高、NPO法人しず 気軽に交流できる場とおか共育ネット(井上 食を提供する「きやり」

こみゆカフェを同市葵区の同校で開いた。スタッフとして参加する地域住民や大学生 スしながら活用してほらと交流し、個人的に「しず」と話した。

相談できる関係を築くことが目的。生徒らは、名前を記入したコップを持って席に座り、卓上ゲームや会話を楽しみながら交流した。井上代表は「定期的に開くので、リラックスしながら活用してほらと交流し、個人的に「しず」と話した。」

同カフェは、毎月2回のペースで実施する予定。(社会部・吉沢光隆)

アマバンド集い
フォークソング
23、24日に浜松
第14回浜名湖フォー

行委員全主催
開社・静岡放送
が23、24の両
松市西区の浜
1デンプークで
る。入場無料。
行。
県内外から54
200人のア

自慢の在来ソバに舌鼓

静岡市葵区の各地域の魅力
を市民にPRするバスツアー
「葵トラバラー大川編」が12
日、同区湯ノ島の市営湯ノ島
温泉浴場で開かれた。公募で
集まった30人の市民が、同地
で古くから栽培される在来ソ
バに舌鼓を打った。
バスツアーは、同市が進め
る「葵の魅力PR
一環。会場では、大川地区住
民有志でつくる「100年そ
ばの会」が、自慢のソバをふ
んだんに使った7品目の料理
を振る舞った。
参加者は「香りが強くてお
いしい」と話しながら、雑炊
やざるそばなどを笑顔で味わ
った。

在来ソバで作られたざるそばを味わう参加者たち

校内にカフェ 生徒の居場所づくり

静岡中央高でNPO運営、県内公立高で初

県立静岡中央高校(静岡市葵区城北2丁目)の校内にこの秋、生徒の居場所づくりを目指す「カフェ」がオープンした。校内にありながら、くつろいだ雰囲気を出し、毎週、約100人の生徒が訪れる。就職や進学、家庭や友人関係などの悩みを抱えた生徒がひと息つける「居場所づくり」は大阪や神奈川に事例があるが、県内の公立高校では初の取り組みという。

「きゃー」。歓声が上がる。隣のテーブルは賑々とトランプと同時に、がしゃんと。トランプ遊びに熱中している。積み木が崩れる音がした。100席ある静岡中央高の



ほっこりできる空間でゲームに興じる生徒やスタッフの表情は柔らかな

大人や社会との接点の場に 不登校・退学防ぐ

1階食堂の昼下がり。隔週水曜の午後だけは利用時間外なのに人影が絶えない。「きゃりこみゅ?カフェ」がオープンするからだ。

カフェはNPO法人「しずおか共育ネット」が静岡市から運営を任せられ、9月に開設。今年度は全12回、食堂を空き時間に開放する。別のNPO法人や企業が無償提供する飲み物やお菓子のほか、トランプやおセロ、将棋も用意され、ハンドマッサージのサービスもある。スタッフは高校の教職員ではなく、大学生や市民らNPO関係者。周囲の迷惑にならないよう出入りも過ごし方も自由だ。NPO代表でキャリアコ



高校生の居場所づくりを目指すカフェ初日のスタッフたち。左下がNPO代表の井上美千子さん。いずれも静岡市葵区城北2丁目の県立静岡中央高校

ンサルタレントの井上美千子さんは、高校生のキャリア支援に取り組み動機を「進路に悩む高校生が地域の先輩と接する機会が少ない。家庭や学校とは違う大人や社会との接点をつくれれば自然と視野も広がり、就業にもつながる」と話す。

静岡中央高は県内に3校ある単位制の定時制。制服や校則がなく、全科目が選択制の自由な校風だ。同高のように定時制や通信制の高校に限らず、学業や友人関係、就職や進学、家庭や人生などの悩みを抱えて不登校や退学を繰り返す生徒は少なくない。「人と話したくない子、話すのが苦手な子もいるし、家に帰りたい子もいる。校内に居場所があり、相談相手がいれば、さりげなく寄り添って愚痴を聞くなど

関係を築くことができる」と井上さんは言う。高校生の居場所づくりは大阪市や横浜市、川崎市などに先進事例がある。高校側も教員だけの関わりでは限界があると認め、カフェの効果に期待する。石原一義教頭は不登校や退学を少しでも減らしたいというNPOの提案に理解を示し、「気軽に自由に利用できる場所になってほしい」とカフェの活動を見守る。

静岡市は11月、大阪から居場所づくりの先駆者、田中俊英さんを教育関係者向けの講演に招いた。田中さんは若者の引きこもり支援に取り組みうちに引きこもりのきっかけとなる不登校や高校中退を防ぐ手立てが必要だと気づいたという。田中さんは講演で「校内に先生以外の第三者が入り、生徒が安心して過ごせる場をつくると悩みの根っこが見えてくる」と説いた。

いま、スタッフの県立大生らが生徒との距離を縮め始めている。生徒の杉山野乃花さん(16)は「学生や社会人の先輩と気軽に話ができる」とカフェのオープンを喜び、読書や裁縫をしながら過ごす。12月、手作りのクリスマス会が盛り上がり、楽しんだ。

(大内博史)

静岡中央高生が 地域住民と交流

葵区

静岡市と県立静岡中央高、NPO法人しずおか共育ネット（井上美千子代表）は20日、静岡市葵区の同校でクリスマス会を開いた。生徒と地域住民らの交流の場を提供する「居場所カフェ」の一環。同校教諭や地域住民が提供した菓子やジュースを景品にしたビンゴ大会には多くの生徒が参加し、盛り上がった。同校1年の磯部歩さん（16）は「たくさんの人と

交流でき、さまざまなつながりができた」と話した。

同カフェは9月から毎月2回、開かれている。井上代表は「地域住民やスタッフなど多くの人が協力してくれている。交流を深めることで人や社会とのつながりを感じてほしい」と話した。



ビンゴ大会で盛り上がる参加者
＝静岡市葵区の静岡中央高

2月3日（土）テレビ静岡 みんなのニュース



手作りおでんで 定時制生徒交流

静岡中央高「居場所カフェ」



静岡市葵区の県立静岡中央高で8日、「居場所カフェ」が開かれた。NPO法人しずおか共育ネット（井上美千子代表）が企画した市、同校との協働事業。生徒が校内で静岡おでんを振る舞った。

同区のおでん店「おがわ」で3日におでんの仕込み方や接客の研修を受けた定時制の生徒2人が、同店の従業員とともに、静岡おでんを提供した。生徒は、黒はんぺんや牛すじなど好みのおでんを味わいながら、学生ボランティアや地域住民と交流した。

「居場所カフェ」は生徒と地域住民、学生らとの交流の場として、昨年9月から毎月2回、実施している。おでんの研修に参加した今田麻衣さん（17）は「おいしいと言ってもらえて良かった」と話した。

静岡おでんが振る舞われた「居場所カフェ」
静岡市葵区の県立中央高

【その他の活動紹介予定】

静岡県ホームページ「協働のススメ」事例データベース掲載（4月以降掲載予定）

（静岡県くらし・環境部 県民生活課 協働推進班）

静岡県教育委員会第3期子ども・若者計画「社会参画、社会貢献を積極的に行っている学生団体」

活動紹介※学生サークルきやりこみゅとしての活動紹介

⑧静岡市及び静岡中央高等学校との打ち合わせ実績

実施日	内容	参加者
7月3日（月）	事前打合せ	静岡市子ども未来局青少年育成課田中雄基さん 特定非営利活動法人しずおか共育ネット井上
7月6日（木）	先行事例視察 神奈川県立田奈高等学校 ぴっかりカフェ視察	静岡県立静岡中央高等学校教頭石原一義さん 静岡市子ども未来局青少年育成課子ども若者センター所長長豊田さん・澤田さん
8月14日（日）	事前打合せ（意見交換会）	静岡県立静岡中央高等学校教頭石原一義さん 静岡市子ども未来局青少年育成課田中雄基さん 特定非営利活動法人しずおか共育ネット井上
9月25日（月）	今後の予定確認	静岡市子ども未来局青少年育成課田中雄基さん 特定非営利活動法人しずおか共育ネット井上

12月26日(火)	中間振り返り会	静岡県立静岡中央高等学校教頭石原一義さん 静岡市子ども未来局青少年育成課田中雄基さん・大石真実さん 山田瑞己さん きやりこみゅサークル矢野陽士さん
2月21日(水)	最終振り返り会	静岡県立静岡中央高等学校教頭石原一義さん 静岡市子ども未来局青少年育成課田中雄基さん・大石真実さん 特定非営利活動法人しずおか共育ネット井上 カフェ参加スタッフ
3月9日(金)	次年度に向けて打ち合わせ	静岡市子ども未来局青少年育成課田中係長・田中雄基さん 特定非営利活動法人しずおか共育ネット井上
カフェ終了後 毎回	各回の振り返り 情報共有	静岡県立静岡中央高等学校教頭石原一義さん カフェ参加スタッフ
3月19日(月)	静岡中央高校先生方との 意見交換会	静岡県立静岡中央高等学校教頭石原一義さん、進路課長高橋康一郎さん、他先生方4人

⑧高校生の感想（自由記入コメント）

- ・雰囲気が明るくて楽しくしゃべれた
- ・ゲームも揃っていて、イベントもたくさんあってすごく楽しかったです。
- ・いい感じの雰囲気なのでよかったです。
- ・前はカードゲームをやって下さったり、おかし・ジュースのサービスがとても嬉しかったし、きやりこみゅの皆さんがとても優しくして下さい、ありがたかったです。
- ・楽しい！ゲームもできるし楽しい！
- ・楽しくて明るくて良かったと思う。
- ・スタッフさんが親身になって相談に乗っていただいてありがたかったです。
- ・とても温かい雰囲気だった。
- ・大人がいて新鮮。
- ・わちゃわちゃした感じが良くてよく言っています。友達ともよくしゃべれるのでよかったです。
- ・初めていったとき、ほんの10分程度だったんですけどリラックスできてよかったです。
- ・雰囲気がいい。
- ・雰囲気が好き。誰かと話せるのがとても楽しい。
- ・楽しくて、話ができたりするのがいい。でも、よく話してた人がいなくなってしまうのは少し悲しい。開催してくれたよかったです。とても楽しい。
- ・大学生の人たちが話しかけてくれて楽しかった。
- ・お菓子おいしいです。
- ・お菓子を食べれるのはありがたかったです。でも、コミュ障などには入りづらいと思います。

- ・コミュ障の人からしたら入りづらい。居心地が悪い気がしました。
- ・おでんがおいしかったです。
- ・とても素晴らしいと思います。毎週やってほしいほど気に入ってます。
- ・おでんがおいしかった。人が多くて疲れた。
- ・おでんの日に行き、おいしいおでんや色々なおかしやジュースをもらえて、学校にいるのにカフェに行った時のようで楽しかった。
- ・まったく違う視点のボランティアの方たちとお話ができるので良い気分転換になっています。
- ・色々な方と将棋で対局できて楽しかったです。
- ・来てくれる大人の方々は話しやすく、カフェの雰囲気もよく過ごしやすい場所でした。
- ・普段関わりの少ない大学生などと話せて楽しいです。
- ・やぎちゃん、またイラスト描きにきますね！次までにたくさん描いてきます！
- ・楽しく年上の人と話すことができてよかったです。これからも続けて欲しいです。
- ・楽しい。雰囲気が好き。
- ・雰囲気が良いので、過ごしやすい。おかしとジュースを貰えるから嬉しい。なんか楽しい。
- ・いつもお菓子をありがとう！
- ・みんなワイワイしている感じが好き。
- ・みんなと楽しい時間を過ごせて嬉しいです。
- ・お菓子がおいしい。
- ・入りやすく寛げる雰囲気がでていてよかったと思う。
- ・クリスマス会とおでんカフェをやったとき楽しかった。
- ・最高です。
- ・色々な話を聞いてもらい安らぎの場です。
- ・気軽に人と交流できるのがよかった。
- ・お菓子もあるし、ジュースもあるし、気の良いお兄さん・お姉さんがいるし、楽しかったです。
- ・あまり言ったことがないのでよく分からない。楽しくおしゃべりできたのは良かったと思う。
- ・明るい場所で友人と入ったら、会話が弾む。
- ・カフェにいるボランティアや大学生と関わることができてとてもいい貴重な時間をえられる。
- ・雰囲気がまったりしていていい。
- ・トランプがゲームなどの遊びがおもしろい。おかしが美味しい。人と話すことができる。
- ・優しく接してくれるのでありがたいです。
- ・少し入りにくい感じがある。(特に1人は)複数人で入れば、それなりに楽しめる。
- ・おでんのときに初めて行った。静岡おでんについて知れてよかったし、何よりめっちゃくちゃ美味しかった。たまに、いつもと違う時間でこういうのがあると行けるから嬉しい。
- ・ごちそうになりました。ありがとうございました。
- ・いつも楽しく利用しています。
- ・静岡中央高校以外でも他の全日制とかでもやってほしいです。
- ・カフェを利用している人が思っている以上に多く、最初はかなり戸惑いましたが、雰囲気もよく楽しく過ごすことが出来たと思います。

- ・ほとんど毎回利用しています。お菓子や飲み物も貰えて、ゲームもできるのでとても楽しいです。大学生のお姉さんやおにいさんたちも気さくにしゃべりかけてくれて嬉しかったです。

3. 定時制高校向けインターンシッププログラム開発事業

①インターンシップ開拓訪問一覧

訪問日	訪問先	備考
8月30日(水)	社会福祉法人天心会 特別養護老人ホーム竜爪園	
8月30日(水)	特定非営利活動法人 POPOLO	
10月5日(木)	株式会社くまひさ	
11月9日(木)	静岡おでんおがわ	
1月7日(水)	株式会社アプリィ	
1月22日(月)	静岡市立中央図書館	

②おでんのおがわでのインターンシップ実施

インターンシップの希望のあった生徒3名がおでんのおがわにてインターンシップを実施した。

【事前打合せ】

- ・実施日：1月18日(木)
- ・内容：インターンシップの内容について
集合時間・持ち物・注意事項の確認

【生徒の事前オリエンテーション】

- ・実施日：1月17日(水)・2月1日(木)・3月19日(月)・3月20日(火)
- ・内容：インターンシップの心構え・注意事項
集合時間・持ち物等の確認

【インターンシップの実施】

- ・実施日時：第1回：2月3日(土) 10:00~15:00(参加者2名)
第2回：3月26日(月) 10:00~15:00(参加者3名)
- ・内容：おでんの仕込み・お客さまの接客・会計・片づけ等

※インターンシップに参加した2名については、2月8日(木)開催のおでんカフェにてカウンターの中に入り、おでんのおがわさんと一緒に接客の手伝いを行った。



③インターンシップ一覧の作成（添付資料）

添付のとおり、インターンシップの受け入れ先を一覧にまとめた。今後は生徒の希望に合わせてインターンシップのマッチングを実施していく。

4. 就職応援個別カウンセリング事業

①実施日

第1回：1月10日（水）15：00～16：00（カフェの中で実施）

第2回：1月17日（水）13：00～14：30

②対象者：在籍3年目の女子生徒（18歳）3年間学校に在籍しているものの、ゼミの日（水曜日）しか学校に来ておらず、単位が1単位も取れていない（0単位）

③内容：今後の進路について

インターンシップについて

※補足

今年度は、高卒の採用環境の改善により想定以上に就職活動での内定取得が早く、昨年と比較しても就職面談の希望者が少ない状況であった。

また、進路課から依頼の面接練習は静岡県教育委員会からの依頼分として実施したため、本事業対象の就職面談は結果として、想定よりも少ない結果となった。

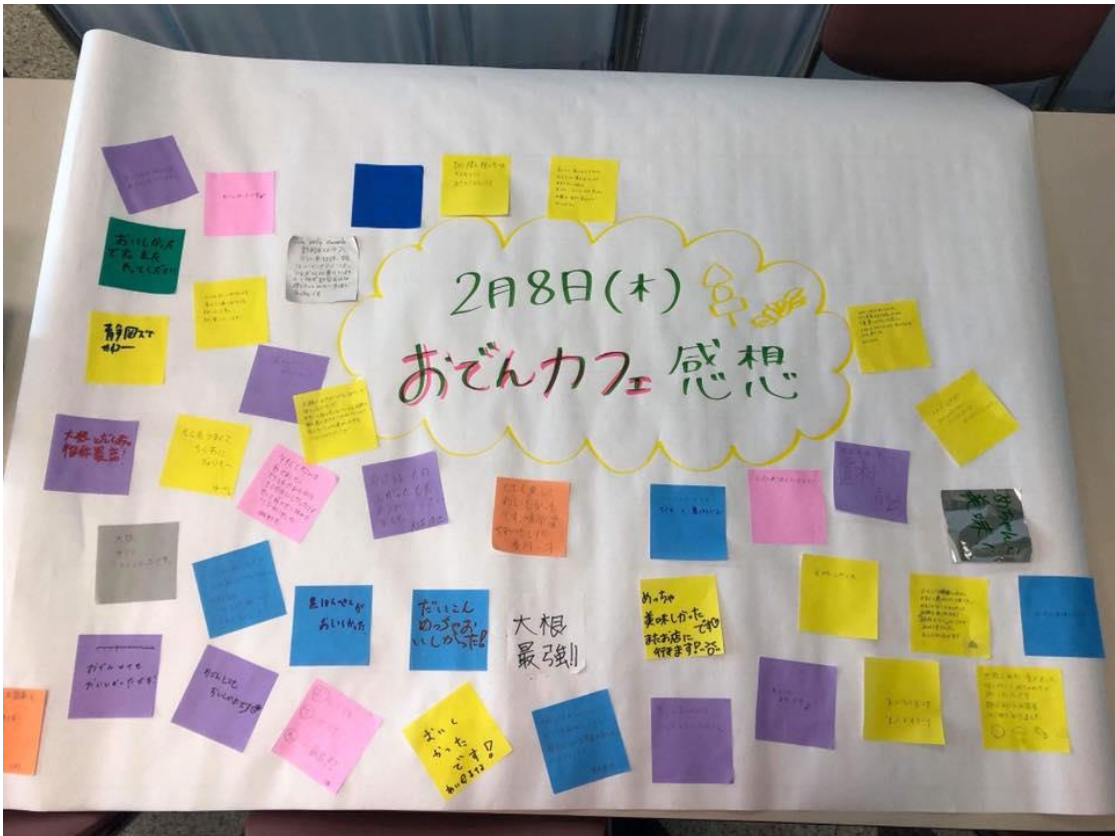
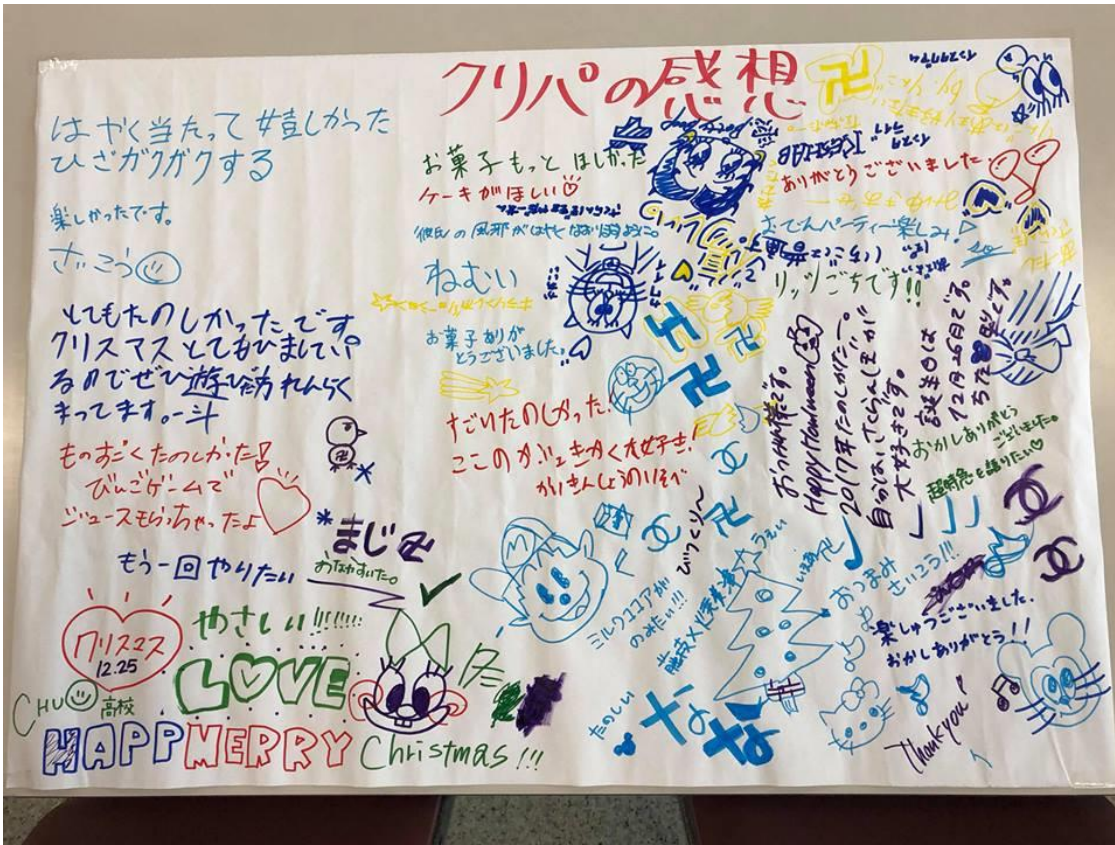
5. 今後の課題及び来年度に向けた改善点

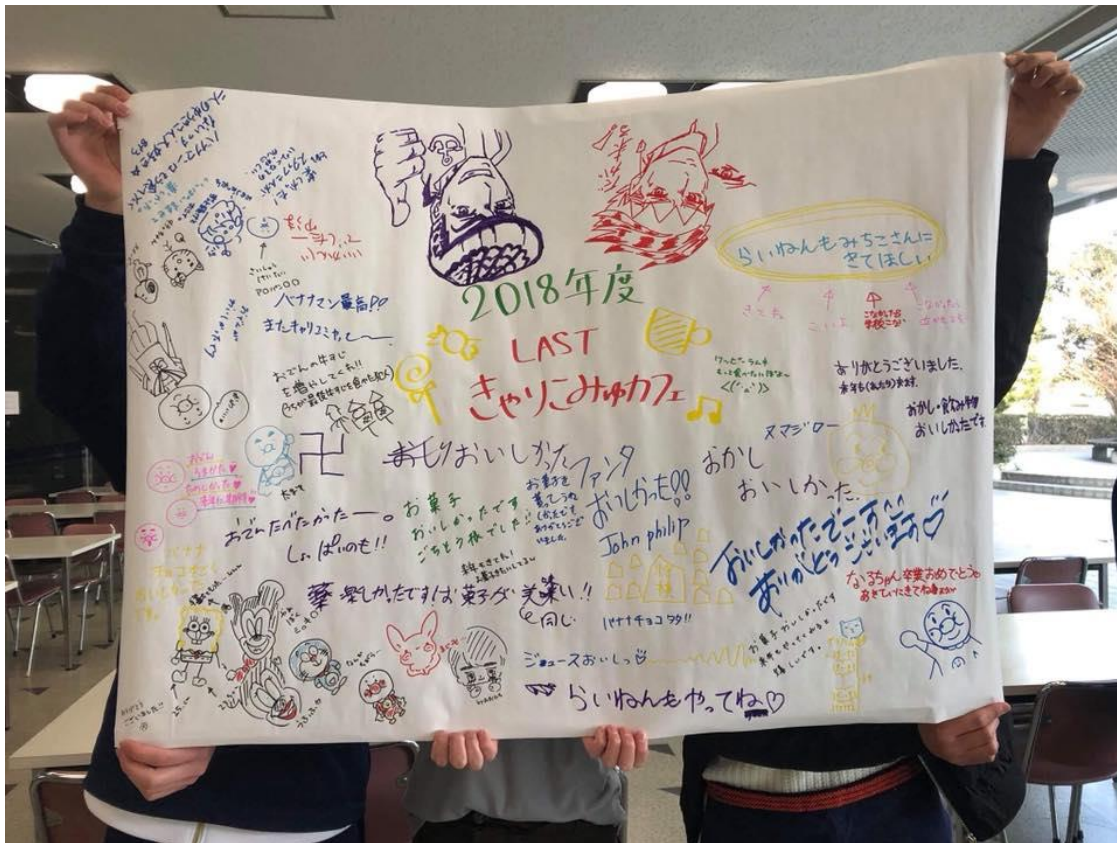
①実施曜日の変更：多くの生徒に参加頂けるよう曜日を変更しての実施も検討していく。

②新規参加者へのアプローチ：新規参加者が来店しやすいようオリエンテーションの充実や新規参加者限定デーの設定など、アプローチを検討していきたい。

③支援体制の構築・リファー先の確保：来年度に向けて外部機関との連携を強化していく。

【参考-高校生の声-】





以上